

事業者名等	藤井寺市いきいき笑顔応援プロジェクト運営委員会	自治体名	大阪府藤井寺市	分野	介護予防
取組タイトル	いきいき笑顔応援プロジェクト ～持てる力を引き出す、訪問からのアプローチ～				
WEBサイト	https://www.city.fujiidera.lg.jp/kurashi/fukushikaigo/kaigohoken/1487241081784.html				

取組概要

【背景】
大阪府は、全国において要介護認定率1位、第1号被保険者一人当たり介護給付額1位といった状況で、その府内でもさらに本市は要支援1の認定者割合が23.3%（全国13.9%、大阪府19.4%）と非常に高く、サービス種類では訪問介護の利用が全国に比べ2倍以上であるなど、高齢者に対する介護予防の意識啓発や、適正なサービス利用に向けた取組が必要であった。

【経緯】
自立した暮らしを多職種で支援するための方法について、包括ケアマネジャーの意見をもとに現実的な方法を検討した結果、本人を含めた場で心身の状態にもとづくサービスの選択や達成可能な目標設定を行えるよう、「同行訪問」を市独自に開始することとした。（「同行」＝ケアマネジャーと、リハビリ職または管理栄養士の二者の同行）

【取組内容】

いきいき笑顔応援プロジェクト
いつになっても、できることは続けていきたい！という気持ちを応援します

同行訪問の目的 本人宅を訪問し直接助言を行うことで、①本人の意欲向上と合意形成(家族も含む)、②ケアマネジャーのアセスメント力の向上、③早期介入と適切なサービスの利用を可能とし、本人の意思のもとに自立支援を促進する。

同行訪問推進のポイント

1. 要介護認定の有無に関わらず利用できるため（一般介護予防事業）、誰でも専門職の訪問を受けることができる
2. 民生・福祉委員等の高齢者を見守る役割を担う地域住民にも、「専門職の訪問」という選択肢があることを理解してもらっており、申込みにつながっている
3. 主治医等の医療職にも、患者について気になることがあれば提案してもらえよう周知しており、申込みにつながっている
4. 申込方法や手順、必要な様式等はすべて運営委員会（市・包括3職種・ケアマネ・リハビリ職・管理栄養士の約15人で構成）にて協議し、多職種の意見を踏まえて改善を図っている

【利用者の変化】

- ・意欲の向上・目標に向けた取組の開始・家事の再開・サービス利用の自主的な中止・前向きなサービス利用の開始・自身の疾患に対する理解促進・地域活動への参加 等

<具体例>

- 体力・気力が低下し漠然と「このままではいけない」と思っていたが、何をすればいいかわからなかった。
→理学療法士から、今すぐ夫婦一緒に取り組める自主トレを教わって目標を明確にできたことで、生活意欲が向上。紹介された地域の手芸・体操サークルにも参加。
- 糖尿病の食事療法にまじめに取り組んでいるが、一方でそれがストレスとなり好きなものを加減できず食べてしまうことがあった。
→管理栄養士から、やって良いこと（パンにバターを塗る、コーヒをバルスイートで加糖する等）を助言し、無理なく続けられるようになった。